

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 67 2009年8月

発行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11(財)日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-1227
WWWホームページ <http://reaj.i-juse.co.jp>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第22回秋季信頼性シンポジウム 発表募集のご案内

- (日 時) 2009年11月20日(金)
(会 場) 財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル
(主 催) 日本信頼性学会 (後 援) 財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) (社)応用物理学会、(社)電子情報通信学会、(社)電気学会、(社)日本機械学会、(社)日本経営工学会、
(社)日本品質管理学会、(特非)安全工学会、研究・技術計画学会、日本オペレーションズ・リサーチ
学会、日本開発工学会、日本シミュレーション学会、日本人間工学会、プロジェクトマネジメント
学会、IEEE Reliability Society Japan Chapter (協賛は依頼中)

< 発表のおすすめ >

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思われていますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思えます。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

< シンポジウム特集号のお知らせ >

各セッションの発表の中から優秀なものないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)としてシンポジウム特集号への投稿を推薦することになりました。この特集号は、通常よりも短い期間で審査を行います(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。

< 予定セッション構成 >

1. [組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面]: 生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例・管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法。
2. [試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面]: 部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性(接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. [システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面]: システムまたはソフトウェアの信頼性保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など。
4. [安全性, リスク]: 産業安全, 製品安全, リスク解析など。
5. [データ収集, 解析]: 情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など。
6. [理論, 一般]: 基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など。

< 参加費と発表者の特典 >

[シンポジウム参加費]正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000円, 非会員 4,000円, 学生 1,500円
[情報交換会参加費] 2,000円 発表者・共著者は情報交換会にご招待いたします。

< 発表申込方法 >

- (申込方法) 「発表申込書」に発表概要を記載の上、電子メールにてお申し込み下さい。申込書のWordファイルは学会ホームページ (<http://reaj.i-juse.co.jp/event/2009/091120-1.html>) にあります。または、このページをプリントアウトしてFAXにてお申込ください。
- (申込期限) 2009年 8月 31日(月)まで
- (審査結果) 2009年 9月 11日(金)頃までにご連絡いたします。
- (発表原稿締切) 2009年 10月 23日(金)ワープロでA4判4枚
- (申込先) 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-1227 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 第22回秋季信頼性シンポジウム 発表申込書
--

(申込期限 2009年 8月 31日)
日

申込日 200 年 月

題目		希望セッション (○印)	1	2	3	4	5	6
発表者 (登壇者○印)								
勤務先								
連絡先	氏名			会員番号				
	勤務先							
	所在地	〒						
	e-mail:							
	TEL	()	-	FAX	()	-		

発表の概要

IEC ディベンダビリティ規格研究会 開催のご案内

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 第 69 回 8 月 27 日(木) 18:30 ~ 21:00

第 70 回 9 月 29 日(火) 18:30 ~ 21:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance、60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(問 合 先) 主 査 山内 慎二 (自宅)Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅)Tel/Fax 042-563-1501

LCC (Life Cycle Costing) 研究会 例会のお知らせ

国際規格 IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004) の英語版を教材として用い、輪読式に翻訳と内容検討、技術的関連事項の調査研究、適用事例収集を行いつつ、メンバー相互の研鑽に励んでおります。

原則として月一回の例会と春秋の発表会への参画、情報収集等 LCC ロードマップに沿った活動を行っております。新規参画歓迎。

(日 時) 2009 年 9 月 11 日 (金) 18:00 ~ 20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩 10 分)

(資 料) IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004)

(連 絡 先) 研究会主査 夏目 武 natsumetom@ybb.ne.jp

同 副主査 古野 紀雄 n-furuno@ct.jp.nec.com

山内 慎二 yamanouc@mbc.ocn.ne.jp

第 3 回 横幹連合コンファレンス 講演論文募集

下記にて開催の第 3 回横幹連合コンファレンスにおける一般講演を募集します。横幹連合ホームページより、「横幹連合コンファレンス」ホームページにお進みの上、講演登録をお願いいたします。各方面からの研究発表を待望しています。

(日 時) 2009 年 12 月 3 日 (木)、4 日 (金)、5 日 (土)

(会 場) 東北大学 片平さくらホール (仙台市青葉区片平 2 丁目 1 の 1)

(主 催) 特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合

(講演申込要領) 1論文について、発表は質疑を含め20分を予定しています。発表者は、オンライン申込みののち、論文原稿をA4用紙2,4,6頁のいずれかでPDFファイルにて投稿頂くこととなります。下記の申し込みにより、論文投稿用のIDが発行されます。1論文につき1件の登録が必要です。

(重要な日付) ● 一般公募講演申込期間: 2009年7月29日~8月24日
● 一般公募講演原稿提出期間: 2009年9月20日~10月27日(予定)

(参加費) 会員8,000円, 学生会員2,000円, 会員外10,000円

詳細・申込方法は、<http://www.trafst.jp/conf2009/> よりご確認ください。

革新的ものづくりのための最適設計法入門 開催のご案内

我が国の製造業の国際競争力は、要素技術の高レベルでの統合による高品質な製品により支えられてきました。激化する国際競争を勝ち抜ける高付加価値の製品を生み出すには、この高いシステム統合技術を生かしつつ、ものづくりを推進する必要があります。

本講習会では、大学、企業から最適設計法に関する研究の第一線でご活躍の研究者を講師に招き、革新的ものづくりのための最適設計入門(最適化技術の基礎, 利用法, それら技術を統合した革新的なものづくりの先進事例)について分かり易く教示していただきます。最適設計法について、これから学びはじめようという方、技術系新入社員の教育の一環に利用されたい方に最適です。

(日 時) 2009年9月7日(月)~8日(火)

(会 場) 早稲田大学理工学術院 (7日55号館第3会議室、8日55号館大会議室)

(主 催) (社)日本機械学会(設計工学・システム部門)

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(参加費) 協賛学協会正会員40,000円, 会員外60,000円, 学生会員15,000円 (教材1冊分代金を含む)

(申込方法) 申込者1名につき、行事申込書(<http://www.jsme.or.jp/gyosan0.htm>)に必要事項を記入いただくか、Web(<http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm>)からお申込み下さい。

(問 合 せ) 社団法人日本機械学会 事務局 (担当: 田中)

〒160-0016 新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

TEL: 03-5360-3500 FAX: 03-5360-3508

オルガテクノ2009(有機テクノロジー展/有機テクノロジー国際会議)

(日 時) 2009年11月10日(火)~11日(水)

(会 場) ベルサール八重洲(東京都中央区八重洲1-3-7)

(主 催) 有機テクノロジー実行委員会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(参加費) 一般13,000円, 学生10,000円

(お問合わせ・お申込) オルガテクノ事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-6 ランドマーク芝公園7階

日本イーজেイケイ(株)内 田平利恵 E-mail: tahira@ejk-japan.co.jp

TEL: 03-6459-0444(代表) FAX: 03-6459-0445

詳細は、<http://www.orga-techno.com/> よりご確認ください。

知識構造化シンポジウム

「SSMが実現する新しいトラブル予測・未然防止の世界」

(日 時) 2009年10月2日(金)
(会 場) 日本科学技術連盟 本部ビル(渋谷区千駄ヶ谷)
(主 催)(財) 日本科学技術連盟
(後 援) 日本信頼性学会 他
(参加費) 2,625円(会員・一般とも)
(お問合わせ・お申込) (財) 日本科学技術連盟 教育推進部 第2課
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1
TEL: 03-5378-1214 E-mail: sqcsemi@juse.or.jp
詳細は, <http://www.juse.or.jp/tqm/50/> よりご確認ください。

産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会2009

- 安全・安心を支える機械システム -

(日 時) 2009年11月27日(金)
(会 場) 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区大岡山)
(主 催)(社) 日本機械学会(産業・化学機械と安全部門)
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 会員5,000円, 会員外7,000円, 学生員2,000円, 一般学生3,000円
(懇親会参加費は別途3,000円)
(お問い合わせ・お申込) 社団法人日本機械学会 事務局 (担当: 渡邊)
〒160-0016 新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
TEL: 03-5360-3504 FAX: 03-5360-3507
詳細は, <http://www.jsme.or.jp/0911270c.htm> よりご確認ください。

行事予定

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
IECディペンダビリティ規格研究会	日科技連 千駄ヶ谷	8/27		
LCC研究会	日科技連 千駄ヶ谷	9/11		
2009年度 統計関連学会連合大会	同志社大学 京・田辺 キャンパス	9/6-9	6/2	http://www.jfssa.jp/taikai/2009/index.html
革新的ものづくりのための最適設計法入門	早稲田大学理工学術 院・西早稲田キャン パス	9/7-8		
日本OR学会 第62回シンポジウム	長崎大学文教キャン パス(長崎市)	9/8	6/19	http://www.orsj.or.jp/nc2009f/sympo.html
IECディペンダビリティ規格研究会	日科技連 千駄ヶ谷	9/29		
知識構造化シンポジウム	日科技連 千駄ヶ谷	10/2		http://www.juse.or.jp/tqm/50/

Asia SIMULATION CONFERENCE 2009 "JSST2009"	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	10/7~9	3/31	http://www.jsst.jp/e/asc2009/
第 26 回 センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム	タワーホール船堀 江戸川区	10/15~16		http://www2.iee.or.jp/ver2/smas/
電子情報通信学会 信頼性研究会	九州工業大学天神サテライトキャンパス 福岡市中央区	10/16	8/14	http://www.ieice.org/~r/
オルガテクノ 2009 (有機テクノロジー展 / 有機テクノロジー国際会議)	ベルサール八重洲 中央区八重洲	11/10~11		http://www.orga-techno.com/
第 29 回 LSI テスティングシンポジウム	千里ライフサイエンスセンター 豊中市	11/11~13		http://www-LSITS.ist.osaka-u.ac.jp/
<u>日本信頼性学会 第 22 回秋季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 千駄ヶ谷	11/20	8/31	http://reaj.i-juse.co.jp
電子情報通信学会 信頼性研究会	中央電気倶楽部 大阪市北区	11/20	9/19	http://www.ieice.org/~r/
産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2009	東京工業大学・大岡山キャンパス	11/27	8/21	http://www.jsme.or.jp/0911270c.htm
電子情報通信学会 信頼性研究会	機械振興会館 港区芝公園	12/18	10/17	http://www.ieice.org/~r/
第 3 回横幹連合コンファレンス	東北大学 仙台市	12/3~5	8/24	http://www.trafst.jp/conf2009/
第 24 回信頼性シンポジウム - 安心・安全を支える信頼性工学の新展開 -	中之島プラザ 11 階会議室 (大阪市北区)	12/10~11	9/18	http://sinrai.jsms.jp/
Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling 2010 (APARM2010)	Victoria University of Wellington New Zealand	2010/12/2~4	2010/6/15	http://msor.victoria.ac.nz/Events/APARM2010/APARM2010

下線は本学会主催行事。 信頼性学会ホームページでも参照できます。 <http://reaj.i-juse.co.jp/>